一生涯のパートナー
第一生命
Dai-ichi Life Group

第一生命 年金通信

年金トピック

No.2018－17
第 9 号

2018 年 4 月 27 日
団 体 年 金 事 業 部

積立基準にかかる省令案のご意見募集（パブリックコメント）

標記につきまして、2018 年 4 月 23 日付で厚生労働省より省令の改正案がパブリックコメントに付されました。

改正内容につきましては、下記のリンク先にてご確認ください。なお、パブリックコメントの募集期限は 2018 年 5 月 23 日となっております。

本件は、第 20 回社会保障審議会企業年金部会で議論された「確定給付企業年金の積立基準について」に関する省令の改正案です。社会保障審議会企業年金部会における検討状況につきましては、年金通信(No. 2018-16：年金トピック第 8 号「第 20 回社会保障審議会企業年金部会における検討状況について」)をご参照ください。

【ご参考】

○パブリックコメント手続の URL
確定給付企業年金法施行規則の一部を改正する省令案に関する御意見募集(パブリックコメント)について
→http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495180011&Mode=0

○年金通信「第 20 回社会保障審議会企業年金部会における検討状況について」(2018 年 4 月 24 日発信)
→http://nenkintsushin.dai-ichi-life.co.jp/index.php

以上

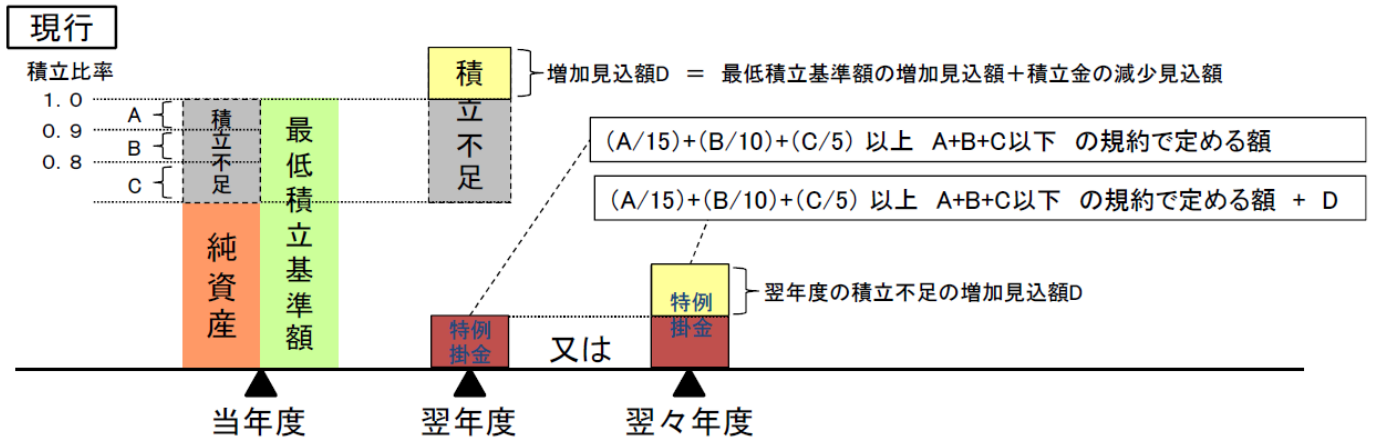
第一生命保険株式会社

（1）今回発表された省令案

一生涯のパートナー 第一生命 Dai-ichi Life Group

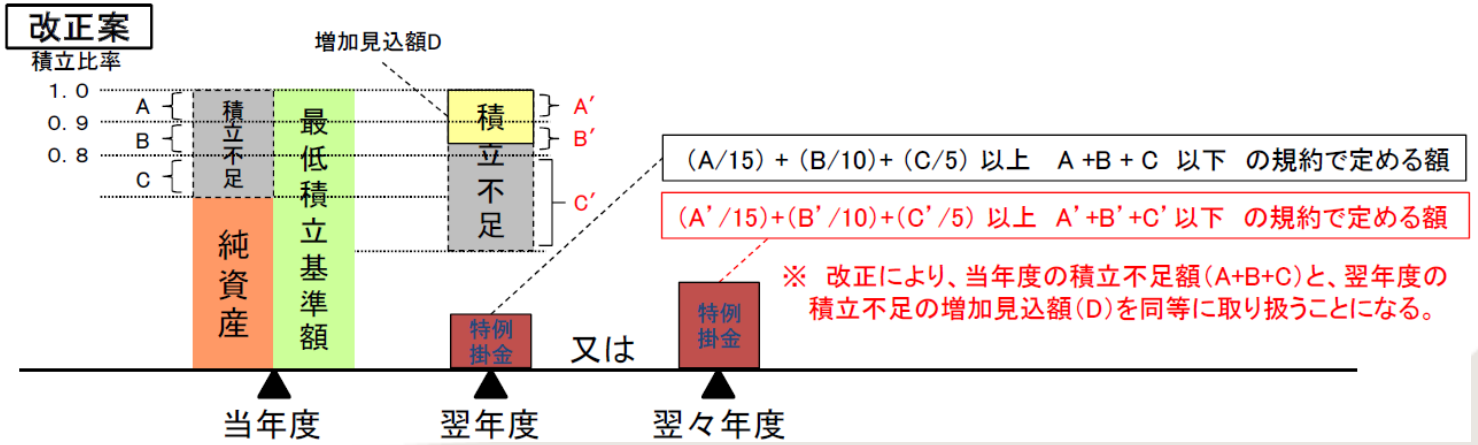
現行

積立比率方式により**翌々事業年度から**特例掛金を拠出しようとすると、
翌事業年度に増加が見込まれる積立不足を一括拠出することとなる
⇒翌事業年度から特例掛金を拠出する場合との均衡を欠いていると考えられる。



改正案

翌事業年度に増加が見込まれる積立不足の分割拠出が可能に



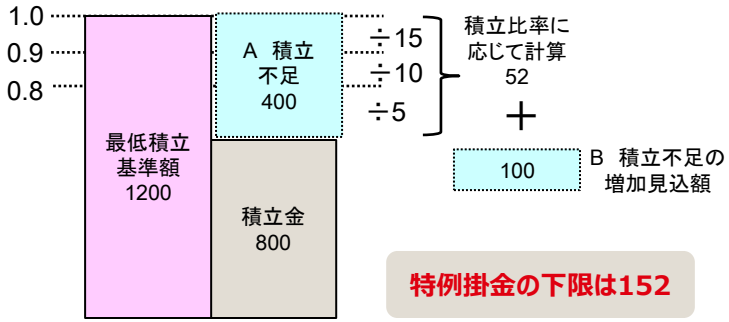
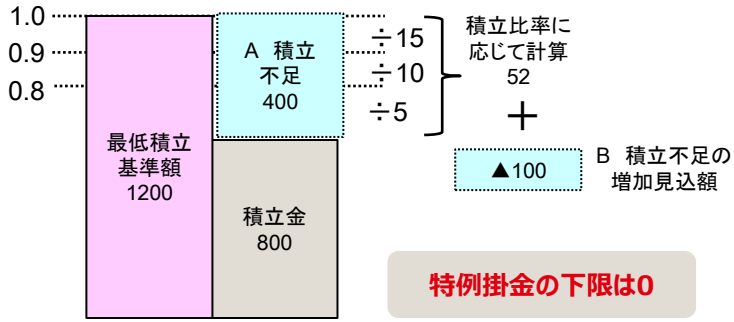
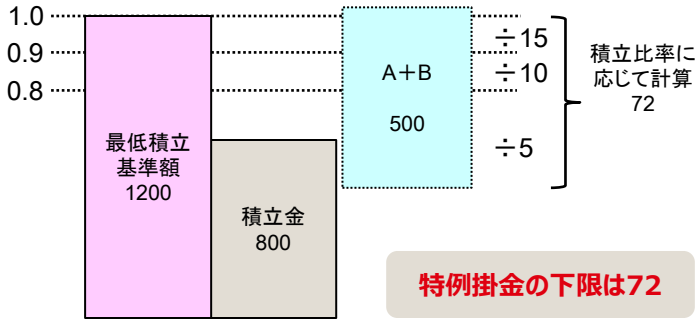
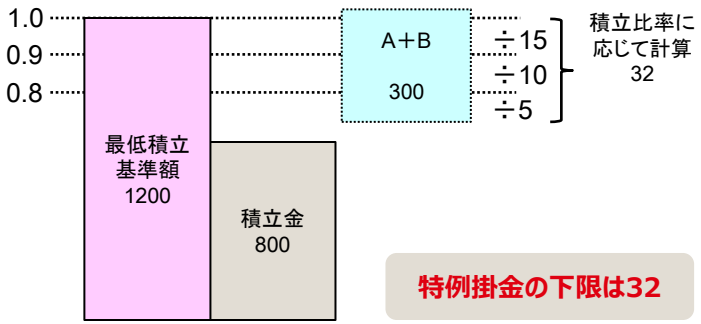
・本取扱いは現在、省令案の段階（パブリックコメント募集中）であり、確定した内容ではございません。

（2）省令案による計算例

一生涯のパートナー
第一生命
Dai-ichi Life Group

今回の省令案を踏まえると、特例掛金の下限(最低限拠出が必要となる特例掛金)が以下のとおり増減します。

[前提] 最低積立基準額1,200に対し積立金が800であり、積立不足が400の場合

	例1：積立不足の増加見込額※が100のケース	例2：積立不足の増加見込額※が▲100のケース (積立不足の減少見込額が100のケース)
現行	 特例掛金の下限は152	 特例掛金の下限は0
改正後	 特例掛金の下限は72 ⇒ 特例掛金の下限は**減少**	 特例掛金の下限は32 ⇒ 特例掛金の下限は**増加**

※ 積立不足の増加見込額は、翌事業年度の最低積立基準額の増加額と積立金の減少額を合算して計算されます。

・本取扱いは現在、省令案の段階（パブリックコメント募集中）であり、確定した内容ではございません。